

「ひとつのことば」

副校長 清 弘 直 行

北原白秋作の次の「ことば」を読んでいろいろ考えさせられました。

『ひとつのことば』 北原白秋

ひとつのことばでけんかして ひとつのことばでなかなかおり

ひとつのことばで頭が下がり ひとつのことばで心が痛む

ひとつのことばで楽しく笑い ひとつのことばで泣かされる

ひとつのことばはそれぞれに ひとつの心を持っている

きれいなことばはきれいな心 やさしいことばはやさしい心

ひとつのことばを大切に ひとつのことばを美しく

本校では、いろいろ大切にしていることがあります。

「挨拶」「感じのいい人」等々です。加えて、今学期の始業式には校長先生から「ことば」の大切さについて講話がありました。「ことば」には力があります。人を元気にさせることもできれば、悲しませることもできます。

私たちは今後も、いろいろな「ことば」を使いながら、いろいろな人と関わりながら生きていきます。

人に元気を、勇気を、優しさを、温かさを、愛を伝えられる「ひとつのことば」を大切にしながら生きていきたいものです。卒業生の皆さん、この3年間、楽しいこと、つらいことたくさんあったことでしょう。その経験を学びとして乗り越えて、よく卒業の日を迎えました。

最後に、私からも「ことば」をお贈りします。「札高養の最上級生として、後輩たちをよく引っ張ってくれました！どうもありがとう。皆さんの幸せを願っております。心よりご卒業おめでとうございます。」

北海道札幌高等養護学校だより

かがや

輝き

令和6年3月8日発行

第4号 総務部



「感謝」

3学年主任 杉 本 富 武

札高養での3年間が終わりを迎えようとしています。

私は、昨年の4月から24期生と同じ学年となりました。この1年間で強く感じたことは、「感謝」です。この意味はいくつかあります。まず、私自身が24期生の48名と深く関わりながら学校生活を送ることができたということです。学年が違っていた頃よりも生徒たち一人一人の優しさや一生懸命さ、向上心や粘り強さなどを知ることができ、皆さんがもっている力や可能性を間近で見ることができたことは幸せでした。

次に、24期生たちはたくさんの人に支えられているということです。この3年間で、たくさんの方々と関わる機会があったと思います。先生方以外にも、実習先の職員や働く人々、販売会に来てくれた地域の方々など、多くの大人たちが皆さんの成長のために力を注いでくれました。

そして、皆さんはたくさんの愛情を受けているということです。いつも近くで寄り添ったり、一緒に喜び、悲しみ、心配したりしてくれる誰かがいるということです。このような人が周りにいるということは、きっと当たり前ではないのだと思います。4月からは社会人ですね。これからはいろいろな人に感謝し、感謝される大人になってください。卒業おめでとうございます。



「充実した1年とは」

1学年主任 本 川 匡 浩

皆さんこの1年どのような生活を送れたでしょうか。「すごく楽しい1年だった」「いろいろとうまくいかない1年だった」などそれぞれあるでしょう。ただ、一所懸命過ごした結果ならば、どちらも素晴らしい1年だったと言えます。最も良くないのは、「普通です」「気がついたら1年が終わりました」というパターンです。皆さんはもう高校生です。自分で考えず、言われるがまま「なんとなく過ごす」のは中学生まででやめにしましょう。

さて、もうすぐ2年生となります。自分には何が足りないのか、何を身に付けるべきかを真剣に考えて目標を立てることが必要です。そして、目標を立てるだけではなく、振り返りが大切です。何度も振り返り、目標を意識して行動できているか確認するのです。そうすれば「なんとなく過ごした1年」にはなりません。地味なことですが自分を成長させるための大事な一歩ですよ。

「学年末にあたって」

2学年主任 竹内 栄二

早いもので、高校生活も2年を終えようとしています。2年生の学年末は、将来に向けて、卒業後の進路選択を迫られる時期でもあります。生徒と保護者、担任、進路担当との進路懇談を終え、一人一人が進路実現に向けて、希望を固めたところです。この進路希望をもとに、新年度の進路開拓が始まることになります。

さて、私は皆さんが入学してから、2年間の学年集会の中で、進路実現のため一貫して話をしてきたことがあります。それは適切なコミュニケーションを取ることの大切さです。それは、「働ける人」「働き続けられる人」になるために、必要な力だからです。具体的には次の4つです。

- ①話の聞き方…相手の方に体を向けて、顔を上げる。
- ②あいさつ…明るく、いつでも、誰にでも、先に、進んで、続けて、挨拶をする。
- ③注意された時の態度…注意されたら、すぐに「ごめんなさい」と言える人になる。
- ④許す…「ごめんなさい」と言われたら、許せる人になる。

この1年、これらを意識して、一人一人が成長できたと思います。これからも「まあ、いいか。これくらいなら大丈夫」と自分勝手な基準ではなく、会社や社会で通じる「社会人基準」として上記4つを意識して生活して下さい。

【部活動・同好会紹介】～1年を振り返って～

陸上競技部 「切磋琢磨」 顧問 杉本 富武

陸上競技部では、「走る・跳ぶ・投げる」という単純な動作についてよく考え、日々の練習と向き合うように指導しています。この1年、生徒たちは多くの大会を通じて、たくさんの自己記録を更新してくれました。地道な努力を積み重ねた成果そのものです。切磋琢磨できる仲間がいること、応援してくれる保護者や先生方がいることに感謝しています。1年間ありがとうございました。



サッカー部 「感謝と成長」 顧問 福士 晟也

保護者の皆様、サッカー部への日頃から活動、運営へのご協力ありがとうございます。また、大会等では、多数の保護者や先生方に足を運んでいただき、本当にありがとうございました。年間の大会数が多いことでも知られるサッカー部ですが、生徒のサッカーに対する熱量に関しては、他の部活動に負けない熱い生徒が集まっております。失敗や成功を繰り返し、サッカーを通じて自己の研鑽に努め、自分の目標を達成できた生徒がいることをとても嬉しく思います。



バスケットボール部 「応援の声に感謝の一年」 顧問 齋藤 誠士

コロナ5類移行に伴い、有観客試合が4年ぶりに全面解禁となりました。7月や11月に行われた大会では、多数の保護者や先生方に足を運んでいただき、本当にありがとうございました。皆様の温かい応援に背中を押されながら、最後まで諦めずに戦う選手の皆さんの姿に、「やっと戻ってきたなあ」と思う気持ちでいっぱいです。3年生が卒業すると、本校単独で大会に参加するのは難しい状況になりますが、今後もバスケットボール部の活動を支えていただければ幸いです。一年間ありがとうございました。



卓球部

「今年1年を振り返って」

顧問 三宅 恵

卓球部は、1年生6名、2年生3名、3年生4名の13名で活動しています。部に昇格して3年目となり、校外の試合にも出るようになりました。毎週月曜日、火曜日の連続した日に柔剣道場(格技場)で活動を行っています。

今年度は、5月に第23回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック)に4名参加し、金メダル2名、銀・銅メダル各1名獲ることができました。また、11月には第35回北海道障がい者卓球競技大会に8名参加し、男子女子1名ずつ、それぞれ3位に入賞することができました。試合で1つでも多く勝てるよう、これからも練習に励んでいきたいと思います。



パソコン部

「今年のパソコン部の活動について」

顧問 菊地 系

今年度のパソコン部は少人数で、ひっそりと活動しましたが、タイピングの自己記録を更新しようと努めたり、ワードやエクセル、プログラミングなどをしたりと頭の中で激しい運動をしています。

ワープロ検定に向けて練習し、検定に挑戦して努力を続けている生徒もいます。iPadも良いのですが、パソコンに触れることも楽しいですよ。皆さんもパソコン部で活動してみませんか。



音楽部

顧問 北 治 見

音楽部は、現在7名の部員で活動しています。週2回合唱を中心に練習を重ねてきました。

校内の演奏会は春にミニコンサートとさよならコンサートを玄関ホールで、学校祭では、全校生徒や一般の方、保護者の皆様に向けて、体育館のステージで歌うことができました。校外の演奏会では、夏に前田東町内会の夏祭り、冬に第31回ていね音楽祭で合唱の発表ができました。発表を地域の方や保護者に聴いていただき励ましや称賛の言葉をいただきました。ありがとうございました。



美術部

「美術部の1年を振り返って」

顧問 荒木 志保

3年前、現在の3年生が本校に入学してきたときに、美術部を作りたいということで、生徒から「先生、顧問になってください。」とお願いされ、美術同好会が設立されたのが、ついこの間のようです。今では、総勢21名の大規模な部活動になりました。この1年は、部活動の中でルールづくりをし、周りの生徒に配慮しながら制作しました。また、学校祭に向けて巨大壁画作成や個人制作に取り組み、芸術面で行事を盛り上げることができました。



軽音同好会

「軽音同好会の1年を振り返って」

顧問 辻 野 奏 美

軽音同好会は1年生1名、2年生3名、3年生2名の6名で活動しています。昨年度よりコンサートが2回増え、今年度は新入生歓迎コンサート、学校祭、卒業前コンサートを行うことができました。メンバーが増えたことで、挑戦できる曲の幅が広がり、学校祭では多くの人の前で堂々と発表し、達成感を味わうことができました。そして、次のコンサートに向けて新曲を一生懸命練習する、音楽が大好きな同好会メンバーの活躍を今後も楽しみにお待ちください。



今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。